

■新たな一步を踏み出して…

～2022年度富山市ふれあいキャンプより～

中川 喬之（富山YMCA本部事務局長）

8月19日（土）～20日（日）の日程で「2022年度富山市ふれあいキャンプ」を開催しました。これまでの2年間は、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止が続きましたが、実に3年振りに「ふれあいキャンプ」を開催することができました。

このキャンプは富山YMCAが単独で実施をしていた「タイガーキャンプ（1978年第1回開催）」を前身とし、現在では富山市に在住する小学4年生から中学3年生までの障がいのある児童・生徒と障がいのない児童・生徒が、豊かな自然の中でのキャンプ体験を通して、互いにふれあい、友情を深め、思いやりの心や協調性、自立性を育むことを目的に1984年から富山市との共催により開催しています。

今年度のふれあいキャンプには12名のキャンパーと5名のリーダーが参加をしました。少々寂しい参加者数ではありましたが、男女の垣根なく、もちろん障がいの有無に関わらず、互いの距離が近づくアットホームなキャンプとなりました。キャンプ中に行った活動も木工クラフト、キャンプファイヤー、野外炊飯（カレー作り）とキャンプではありきたりのプログラムばかりでしたが、それぞれのペースを保ちつつ自然に声を掛け合い補い合いながら、キャンパーたちはあっという間の2日間のキャンプ生活を楽しんでいただいているように感じます。

さて、このキャンプの大きな魅力は「多様性」です。様々な特異性を持ったキャンパーたちが繰り広げる人間模様はこれまでのふれあいキャンプをふり返って見ても他のキャンプでは中々体験できない醍醐味と言えます。まさに個性のぶつかり合いと言えますが、今回ふれあいキャンプに参加したキャンパーたちは、各々のパーソナリティーを垣間見せつつも周りの仲間との繋がりを自然に求めているように思います。

やはりそこには、これまでのコロナ禍の中で失われつつあったリアルな人間関係作りにあったのだと改めて気づくことができました。常に人と人との身体的距離を確保することが求められる日常生活において、キャンプは非日常の空間であり、また多様なキャンパーたちの居場所でもあるのです。

ニューノーマルな時代を迎え、人間形成においても新たな形での繋がりがクローズアップされていく中で、これから先もふれあいキャンプは変わることなくキャンパー一人ひとりにとっての拠り所であり、心と心を繋ぐ居場所であり続けたいと願うのです。



夏の特別プログラムご報告

フィッシングキャンプ 7月30日(土)～8月1日(日)

今年度からスタートしたフィッシングキャンプ。いろいろな魚を釣ろうと浜黒崎キャンプ場を拠点に、水橋フィッシャリーナで魚釣りを楽しもうとしました！しかしびっくりするほどの猛烈な暑さに数匹の魚しか釣れず悔しい結果に。釣った貴重な魚は魚さばき女子たちの華麗な手つきによってみるみるうちに3枚におろされ、美味しい塩焼きになりました。

2日目も1日目に負けないくらいの猛暑に釣りは断念。火照った体を冷やして過ごすために、急遽海水浴に変更しました。暑さを忘れられる海の水の冷たさにだいふ癒されながら楽しむことができました。

自然の大きさ、厳しさ、恵み(少しだけ)を嫌というほど味わうことができた2日間。来年のリベンジフィッシングキャンプはあるのか！？お楽しみに。



きときとマリンキャンプ 8月6日(土)～7日(日)

夏恒例の“きときと”キャンプ！3年振りにグリーンパークおおしまキャンプ場(黒部市)で開催しました。久しぶりの「海キャンプ復活」となり、当日は開催を心待ちにしてくれていたメンバーが沢山参加してくれました。また今回は、きときとキャンプお馴染みの「電車旅」も復活し、電車による現地までの往復もメンバーにとっては楽しいプログラムのひとつとなりました。

2日間のキャンププログラムで一番長く活動したのが海水浴です。水の掛け合いから始まり、泳いだり潜ったり投げ飛ばされたり、海の中ではグループの垣根を越えて存分に遊ぶことができました。また活動前にはライフジャケットの使い方やバディーコール(安全確認)についてもメンバーと共に確認し、水上安全について学びの時を持つことができました。

初日の夜は急な雨もあり、残念ながらキャンプファイヤーは出来ませんでしたが、多くのメンバーが楽しみにしていたテント宿泊は無事に体験することができ、とても満喫した2日間のキャンプとなりました。



フリーポートキャンプ 8月7日(日)～8月8日(月)

学童の子たちを対象に開催されるフリーポートキャンプ。今年から8階も使えるようになって住環境は最高になりました。7階のさくらカフェでBBQを楽しんで、そのまま映画鑑賞。その裏では有志による肝試し大会の準備が着々と進められます。映画が終わると6階は怖いお化け屋敷に子どもたちも大興奮でした。興奮冷めやらぬ中、8階に布団を敷いて次の日に備えます。興奮しすぎた数人は大人の目を盗んでそのまま6階で遊び続け寝不足になりました(笑)。

次の日は岩瀬浜まで海水浴と釣りに行きました。フィッシングキャンプよりもたくさんの魚を短時間で釣ることができ、来年のフィッシングキャンプの場所はここにしようと思えました。

いつもの学童のみなで行くのでゆるくて楽しいキャンプになりました。それとドでかいスイカをおとくん、とわくんのお家からいただき、夕食後はカブトムシの様にみんなでむさぼっていました。(とんぼ)



カントリーキャンプA 8月10日(水)～11日(木)

毎年恒例の八尾の山の中で昔の暮らしをこれでもかと体験するカントリーキャンプ。今回も初めましての人そこそこに、毎年来ているリピーターの人数も多いこと。川遊びでは冷たい水に叫びながら全身浸かって滝修行をしたり、滑り台をしたり。大きなナナフシを見つけては大興奮の虫取り。アリジゴクもひっそりとブームを迎えました。夕飯はもちろんみんなで作りしました。薪をナタやオノで割り、火をつけて息を吹きかけてどんどん燃やします。ちょっとだけ水が足りなくて固いご飯になってしまいましたが、お腹がすいた子どもたちの前にはお構いなしにおかわりパラダイスでした。

次の日はお待ちかねの宝探し。グループのみんなで協力して謎を解き、野山を駆け回って楽しみつくしました。2日間あっという間に過ぎ、また来年も今から楽しみです！



カントリーキャンプB 8月12日(金)～13日(土)

カントリーキャンプがすぐに定員に達してしまうのでこちらも恒例になっているカントリーキャンプの第二弾。第一弾とプログラムはほとんど一緒だけど雰囲気全然違うキャンプになりました。川遊びはおっかなびっくり遊んでみたり、ご飯の度に「ごはんのうた」をひたすら歌ったり、こじんまりとした人数だったからこそみんなとの距離が近くにあって遊べました。キャンプファイヤーはそれぞれみんなが宇宙人になってなかなか大変なことになりましたが、それもまたご愛敬。遊んで遊んで遊びまくったキャンプになりました。少しはお手伝いもしてね(笑)。



湾岸サイクリングキャンプ 9月18日(日)～19日(月)

今年の湾岸サイクリングキャンプは、台風の影響による気温の上昇に伴い30℃を超える中でのサイクリングとなりました。2日間のメインコースは、このキャンプお馴染みの富山湾岸サイクリングコース(西側コース*富山市⇄氷見市)です。富山市五福公園と氷見市島尾キャンプ場間を、2日間に渡り約70kmを走破しました。

毎年サイクリングキャンプに参加しているメンバーにとっては、イメージを持って70kmのサイクリングができますが、初めてロングライドに挑戦するメンバーにとっては途方もない道のりです。2日間のサイクリングの道中は、ご愛敬と言えるトラブルはありつつも、互いに声を掛け合い励まし合いながら懸命にペダルを踏んでいました。結果、誰一人欠けることなく無事に全員完走することができました。

サイクリングキャンプの素晴らしさは、メンバーもリーダーも自然に「絆」が生まれることです。目的を共有しひたむきにゴールを目指す姿は、改めてスポーツキャンプの醍醐味を感じることができました。



フリーポート日誌

YMCA 学童「フリーポート」には、子どもたちの一番の遊び相手であり、理解者でもある若いボランティアスタッフがたくさんいます。

今年の夏に大活躍してくれたまなみちゃん（高校生）の活動記録の一部を紹介します。

7/25 (ピンゴ大会)

ボランティア初日。はじめは右も左もわからず不安と緊張でいっぱいでしたが、子どもたちの積極性とイベント（ピンゴ大会）に救われました。でも子どもたちの元気に負け、声が通らなかったり、複数の子を一度に対応したりができず反省の多い一日でした。

7/26 (クラフト)

子どもたちの作業速度が違うため、ひとりひとりへの対応をテーブル全体への対応の両立が難しく、目の回るような思いでした。

帰り際に一人の女の子が絵をプレゼントしてくれました。思いもしないことで、とても嬉しかったです。

7/29 (かき氷の日)

宿題や持ち物を通して話が膨らみ、子どもたちに得意教科や趣味など色々なことを知ることができました。また、名前や漢字の話題から、自分の名前に込められた思いや家族の名前を次々教えてくれて、とても温かく優しい気持ちになりました。

8/2 (クッキング)

お皿洗いをしているときに、トッピングを使ったオリジナルアレンジレシピを見せに来てくれる子や、ずっと隣でお話ししてくれる子がいたり、少しずつ馴染めている嬉しさと安心を感じました。

子どもたちの純粋で濁りのない褒め上手具合は、心が洗われるような素敵な力があって本当に不思議です。

8/16 (ピザ作り)

レゴでの家づくりやおままごと、クッキングでの具材の入れ方や巻き方でそれぞれの個性が光っている一日でした。子どもたちを見渡しなが、洗い物をし、食べ終わった子どもたちが「おいしかったー！」と食器を下げに来てくれる洗い場は特等席のような場所です。

8/25 (冷たいおやつ作り)

最終日。洗い物をしていると、一人また一人と3人の小さなお手伝いさんが来てくれました。それぞれへの役割の指示やお願い（刃物には触らないなど）をよく聞いて、一生懸命頑張ってくれました。お手伝い後に「たのしかったー！」と言っている姿がとても輝かしかったです。

いつものように「次はいつくるの？」と無邪気に聞きに来てくれた子どもたちに今日が最後の日だと伝えると「じゃあ、冬休みは来る？」想像もしていなかった言葉に思わず笑ってしまいました。

まなみちゃんを目を通して、学童の日々の様子が伝わってきます。フリーポートは、子どもたちと大人たち、支援される側とする側の区別がなく、それぞれがパワーや優しさを与え、与えられる場だということを再認識。まなみちゃんありがとう！お手伝いのみんなもありがとう！！(by スタッフ)

ファミリーバザーのご案内

毎年恒例のファミリーバザー。今年も開催いたします。今年度も昨年同様、事前に申し込みをしていただきご参加ください。

日時：2022年11月3日（木・祝）

10:30～16:00

場所：富山YMCA 堤町センター

内容：ゲームコーナー、プレールーム、カフェコーナー、占いコーナー、蚤の市、募金活動など（予定）

*詳細は、後日配布のお手紙をご覧ください。

蚤の市商品提供のお願い

ご家庭で使っておられない商品がありましたら、ぜひ「蚤の市」へのご寄付をお願いいたします。雑貨、食器、嗜好品、お酒、食品、おもちゃなどなど、どんなものでも構いません。ご協力をお願いいたします。

お問い合わせやご提供は各センターまでお願いいたします。

■活動のご案内■

野外 タータ&アドベンチャー

11/20（日）クリスマスクラフト

@未定

学童野外

11/ 5（土）秋の動物を見に行こう

@富山市ファミリーパーク

学童クッキング

11/12（土）ロールキャベツ

◆イングリッシュカフェ（木）14:20～15:20

一般 1,500 円、会員 1,200 円

外国人講師と楽しい英会話をお楽しみください。

要予約：076-431-5588（駅前センター受付）

とんぼのつぶやき (不定期)

夏が過ぎあつという間に秋が訪れ、寒さを感じる季節になりました。先日3年ぶりに風邪をひきました。（コロナではありません。）その後アドのキャンプは朝日を見る登山キャンプが大雨で見られず。ポケカの新弾の抽選はすべて外れる。10月は全然いいことないなと思っていましたが、とあるライブでの席が良すぎてもう大変。この時のために運を貯めておいたのかと納得。人生の帳尻は合うものですね。